

2021年度

事業報告書及びその附属明細書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

公益財団法人たかしん地域振興協力基金

【事業報告書】

1. 会議の開催状況

(1) 理事会

日 時	2021年 6月10日 (木) 11時00分～12時00分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	第1号議案「2020年度事業報告(案)」について 第2号議案「2021年度剰余金解消計画書(案)」について 第3号議案「2020年度計算書類(貸借対照表及び損益計算書) 及び附属明細書並びに財産目録の承認(案)」について 第4号議案「2021年度第1回評議員会の招集(案)」について
報告事項	(1) 代表理事および専務理事の職務執行報告 (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う助成事業への影響について

日 時	2021年 7月27日 (火) 決議(書面開催)
議 案	第1号議案「理事の任期満了による改選(案)」について 第2号議案「監事の任期満了による改選(案)」について

日 時	2022年 3月11日 (金) 11時00分～12時00分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	第1号議案「2022年度事業計画及び収支予算(案)」について 第2号議案「事務局規則(案)」及び「会計処理規則(案)」について
報告事項	(1) 代表理事及び専務理事の職務執行報告について (2) 岐阜県の立入検査結果について (3) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う助成事業への影響について

(2) 評議員会

日 時	2021年 6月29日 (火) 11時00分～12時00分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	第1号議案「2020年度事業報告(案)」について 第2号議案「2021年度剰余金解消計画書(案)」について 第3号議案「2020年度計算書類(貸借対照表及び損益計算書) 及び附属明細書並びに財産目録の承認(案)」について 第4号議案「評議員候補者(案)」について
報告事項	(1) 代表理事および専務理事の職務執行報告 (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う助成事業への影響について

日 時 2021年 7月13日 (火) 11時00分～12時00分
場 所 高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案 第1号議案「理事の任期満了による改選(案)」について
第2号議案「監事の任期満了による改選(案)」について

日 時 2022年 3月11日 (金) 13時30分～14時30分
場 所 高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案 第1号議案「2022年度事業計画及び収支予算(案)」について
第2号議案「事務局規則(案)」及び「会計処理規則(案)」について
報告事項 (1) 代表理事及び専務理事の職務執行報告について
(2) 岐阜県の立入検査結果について
(3) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う助成事業への影響について

2. 事業の実施状況

2021年度の事業について、定款第4条に定める事業を対象として助成希望者の募集を行った結果、飛騨地域の6団体から85万円の助成申請があり、当財団の2021年3月開催の理事会において助成先の選考および助成金額を諮り、評議員会の承認を経て、前年度助成延期事業125万円を含む210万円の助成額が決定され、下記のとおり事業を実施しました。

助成受付期間	2020年4月1日から2021年2月28日
助成実施期間	2021年4月1日から2022年3月31日
助成決定事業	6団体 85万円
前年度助成延期事業	7団体 125万円
助成実施事業	9団体 145万円
次年度助成延期事業	4団体 65万円

2020年度の事業において延期等により公益財団法人認定法第14条に定める収支相償の原則に反する状態になっていた剰余金(助成金125万円)は2021年度に全額助成して解消いたしました。

また前年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、実施することが困難となった助成事業4件の助成金65万円については、次年度に延期することとし、高山信用金庫からの寄付を保留することにより公益財団法人認定法第14条に定める収支相償の原則を遵守していますので、2021年度に剰余金は発生しておりません。

2021年度から2022年度に延期された事業は以下のとおりです。

産業発展振興 / 神岡ドローンフェスタ with ひだミュージックファーム	15万円
社会生活環境 / 15周年記念ぼんぼりゆめ街道事業	20万円
文化・スポーツ / 第5回コールからたち演奏会	10万円
アンサンブルタクウー#6	20万円

(1) 地域の産業振興発展助成事業

(助成 0件 0万円、延期 1件 15万円)

(2) 地域の社会生活環境の整備に関する助成事業

(助成 2件 35万円、延期 1件 20万円)

① 一般社団法人下呂青年会議所 (20万円)

事業名：一般社団法人下呂青年会議所60周年記念特別事業

目的：下呂市内における各青年団体の意識を統一し下呂市民が明るい気持ちとなり困難な状況でも笑顔を忘れないための周年特別記念事業への助成事業

概要：新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、イベントの中止などにより市民が顔を合わせる機会が減少し、地域内のコミュニティの希薄化、笑顔の減少など大切なことが失われてきました。下呂市内の各青年団体が手を取り合い、課題を共通認識及び意識を統一するため統一スローガンを掲げることにより各青年団体が同じ方向を向いた事業展開を行い、まちの原動力となり新たなチカラを生み出す取組みに寄与することができました。

② 河合小地域学校協働本部 (15万円)

事業名：河合っ子マルシェプログラム (地域資源を活用した起業家マインド育成)

目的：未来の地域振興を担う人材育成を目的に自然に恵まれた地域ならではの資源を活用した起業家マインド育成プログラム構築への助成事業。

概要：「子ども目線で地域貢献、再発見」をコンセプトに「河合っ子マルシェプログラム」を企画し、子どもたち自身が考えてきた商品アイデアにアドバイザーが質問することにより子どもたちに「気づき」を与えて商品化する企画です。河合小学校の3～6年生の有志が「河合にきて河合を大好きになって」をテーマとして、河合の特産品を利用した商品(クロモジの野草茶、山中和紙のレターセット・ポチ袋・ブックカバー・ワインバック・エコバックなど)を作成・販売して「河合のよさ」を発信するとともに、子どもの起業マインドの育成すること及び郷土愛を深める取組みに寄与することができました。

(3) 文化・スポーツ等に関する助成事業

(助成 7件 110万円、延期 2件 30万円)

① (下呂市小坂町) 大島区 (20万円)

事業名：大島区納涼夏祭り・地蔵様祭り及び怪我無地蔵屋根改修

目的：納涼夏祭り・地蔵様祭りのふれあいと融和のシンボルである怪我無地蔵の屋根の改修により更に地域コミュニティの活性化を図るための助成事業

概要：新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い納涼夏まつり・地蔵様祭りは中止となりましたが、地域の信仰が深い怪我無地蔵の屋根及び由来看板を老朽化のため改修したことにより地域の文化に寄与することができました。

② 一般社団法人日本版画院東海支部高山巡回展（20万円）

事業名：第70回版画院東海支部高山巡回展

目的：展覧会を通して伝統文化である飛騨版画の振興発展を進め、一流作家の作品を身近に鑑賞していただくことで文化の醸成を図るための助成事業

概要：日本版画院の創設者である棟方志功の作品及び第70回日本版画院において入選した作品を46点に加え、東海支部会員作品23点、北陸支部会員作品30点、その他2点の合計101点を展示したことにより、一流作家の作品を高山で鑑賞（来場者総数691名）でき、地域の文化に寄与することができました。

③ 飛騨音楽の里（変更前 飛騨かわいチェロリサイタル実行委員会）（20万円）

事業名：真夏の夜のコンサート～金木博幸と素敵な仲間たち～（第20回記念事業）

目的：一流の演奏を聴く機会を設け、音楽の楽しさと感動を味わうことで明日への活力を高め、地域活性化を図るための助成事業

概要：クラシック音楽を聴く機会がなかった河合村で村民有志が集い「真夏のコンサート」を平成13年から開催してきており、今回が第20回の記念事業となります。クラシックの生演奏を聴くことの良さ、心に潤いのある地域づくりを目指し、また併せて「飛騨河合音楽コンクール」を開催し、若手の演奏家の育成、今後の音楽合宿の誘致などの経済効果も含め地域の文化に寄与することができました。

④ 青龍臺組（飛騨市古川町殿町連合区）（10万円）

事業名：気多若宮神社例祭時駅前大提灯張替修理事業

目的：青龍臺組の気多若宮神社大神への信仰の証である大提灯の張替えによる文化伝承を図るための助成事業

概要：古川町の玄関である飛騨古川駅に例祭の象徴として設置する大提灯が破れていました。先人たちの製作した大提灯を修理して使用することで代々受け継がれてきている文化保存への伝承の一つであり、この張替えで地域の文化に寄与することができました。

⑤ 飛騨市河合町歌舞伎保存会（10万円）

事業名：角川体育館こけらおとし（定式幕等設置事業）

目的：河合町に伝わる地歌舞伎の技術向上のために角川体育館を公演会場として環境を整備し、拠点とすることで伝統芸能の継承を図る助成事業

概要：河合町に伝わる地歌舞伎（村芝居）は、古くは文政6(1806)年に存在する記録が残っており、明治から昭和初期は盛んに行われていたが、その後衰退していたところ、平成19年に河合町歌舞伎保存会が設立され、平成29年に飛騨市河合町歌舞伎保存会に改名し活動を再開しています。年に1回の定期公演に加え、河合小学校5・6年生のふるさと学習の一環として、地歌舞伎の指導を実施するなど、その公演会場として、定式幕を設置など整備するこ

とで、この活動を継続し、伝統芸能を継承することで地域の文化に寄与することができました。

⑥ 飛騨市美術館（15万円）

事業名：令和3年度飛騨市美術館企画 飛騨を描き続けた清冽の画家 沖野清展

目的：沖野清は精力的に油絵画の制作し、飛騨地域の洋画文化を牽引してきた指導者の偉業を回顧することにより文化の伝承を図る助成事業

概要：飛騨を描き続けた神岡町生まれの画家沖野清は意外にもその画業が展覽された機会はあまりございませんでした。沖野氏のていねいな筆致、寒色を中心とした冷涼で厳しさのある色彩等、特有の清冽な世界を当時の記録、解説を添え、絵画表現の内奥やその生き方を展示（来場者1,282名）することで、郷土が誇るべき洋画家の画業を紹介することができ、これまで沖野氏の知らない若い方など多くの方が絵を観る楽しさを味わい、心を潤わせる機会となり地域の文化に寄与することができました。

⑦ T L S L実行委員会（15万円）

事業名：飛騨・神岡短歌コンクール「女神へ送るラブレター」

目的：飛騨市神岡町の山中にある立ち達磨を観光名所にすること並びに短歌を通じて地元の学生の文芸に対する興味を深めるための助成事業

概要：立ち達磨の視線の先はニューヨークの自由の女神に位置することが判明しましたが、残念ながら女神像はお尻を向けており、こちらに気づいておらず、口下手な立ち達磨の代わりに全国からラブレター（「恋」をテーマとする短歌）を募集しました。最優秀作品をニューヨークの自由の女神に届けることで、立ち達磨の知名度をあげること、短歌を通じて地元の学生の文芸に対する興味を持たせ、地元への思いを強くなってもらうことにより地域の文化に寄与することができました。

【事業報告の附属明細書】

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。